

令和4年度 事業報告

事業名	実施状況の概要										
<p>公益目的事業</p> <p>国際交流・多文化共生の推進</p> <p>(1) 地域の国際化に向けた情報の収集・提供・発信</p>	<p>ア 多言語情報の提供と発信</p> <p>ア) ホームページの運営 (県補助事業 1/2)</p> <p>財団の情報を迅速に提供するとともに、地域における国際交流の情報交換や、在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ(日本語・英語・中国語・ベトナム語版)を運営。新型コロナウイルス感染症に関する多言語特設ページを設け、随時情報の更新に努めた。</p> <p>今年度はWeb版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」の作成に着手し、在留・転入転出手続きや緊急時の連絡方法等について、分野別に順次、県内在住外国人への情報発信に努めることとし、県内で最も在留者数の多いベトナム語版を先行して掲載した。</p> <p>訪問数 27,430 (月平均2,286) ← 前年度比7.8%減</p> <p>財団ホームページアドレス http://www.torisakyu.or.jp/</p> <p>(事業報告附属明細書P15参照)</p> <p>イ) SNSによる情報発信 (県補助事業 1/2)</p> <p>在住外国人にダイレクトに有益な情報を伝える手段として公式SNS (Facebook とっとりニコニコ 英語/やさしい日本語版、中国語簡体字版、中国語繁体字版、ベトナム語版の4言語)を運営。特に、新型コロナウイルス感染症関係、大雨や台風時等の防災情報をきめ細やかに配信することに留意した。</p> <p><フォロワー数 R5.3末現在←R4.3月末現在></p> <table border="0"> <tr> <td>英語/やさしい日本語版</td> <td>254←198 (前年度比28.3%増)</td> </tr> <tr> <td>中国語簡体字版</td> <td>51←43 (前年度比18.6%増)</td> </tr> <tr> <td>中国語繁体字版</td> <td>170←161 (前年度比5.6%増)</td> </tr> <tr> <td>ベトナム語版</td> <td>1,318←1,118 (前年度比17.9%増)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,793←1,520 (前年度比18.0%増)</td> </tr> </table> <p>(事業報告附属明細書P15～16参照)</p> <p>ウ) 機関紙の発行 (県補助事業 1/2)</p> <p>財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」第140～142号を発行(A4・一部カラー刷り 一部記事については英語・中国語・ベトナム語表記 各2,000部)。</p> <p>イ 交流拠点の運営と関係機関との連携</p> <p>ア) 本所・倉吉事務所・米子事務所の運営 (県補助事業 10/10)</p> <p>全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として財団本所、倉吉事務所(鳥取県中部総合事務所別館内)、米子事務所(米子コンベンションセンター4階)を設置・運営した。令和元年度より、県から外国人相談窓口業務の委託を受けるほか、各拠点では一般図書、日本語教材、視聴覚資料及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸し出しに供したほか、毎月第二日曜日(14:00～16:00)に本所において、在留資格の変更等の手続きについて申請取次行政書士がボランティアで相談に応じる窓口を運営した。</p> <p>(事業報告附属明細書P16参照)</p>	英語/やさしい日本語版	254←198 (前年度比28.3%増)	中国語簡体字版	51←43 (前年度比18.6%増)	中国語繁体字版	170←161 (前年度比5.6%増)	ベトナム語版	1,318←1,118 (前年度比17.9%増)	計	1,793←1,520 (前年度比18.0%増)
英語/やさしい日本語版	254←198 (前年度比28.3%増)										
中国語簡体字版	51←43 (前年度比18.6%増)										
中国語繁体字版	170←161 (前年度比5.6%増)										
ベトナム語版	1,318←1,118 (前年度比17.9%増)										
計	1,793←1,520 (前年度比18.0%増)										

イ) 関係機関との連携 (自主事業)

i) 連絡調整

県内に拠点を置く民間国際交流・協力関係者及び県・市町村担当者と、地域の国際交流の活性化のために連携して活動していくための意見交換、県内の高等教育機関における外国人留学生の円滑な受入れと地域社会と連携した国際交流活動を図ることを目的とする鳥取県留学生交流推進会議については、書面での情報共有とした。また、中国5県の地域国際化協会連携会議、中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会のブロック会議及び研修会に参加し、意見交換・情報共有を行った。

<地域国際化協会連絡協議会との連携>

○中国5県地域国際化協会情報連携会議 (月1回程度、主にオンライン会議)

日 時	令和4年6月14日 (火) 15:00~16:30	令和5年3月8日 (水) 14:00~16:00
場 所	ハイブリッド形式 (オンライン+ひろしま国際センター)	岡山国際交流センター
内 容	各県の状況報告、 JICA中国との意見交換	今年度取組の振り返り、情報共有 来年度の取組方針等

○中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会 (オンライン会議)

日時: 令和4年10月26日 (水)

幹事: (公財) 徳島県国際交流協会

内容: 各協会の概況報告、各協会提出議題協議、研修会

ii) 地域連携等

市町教育委員会事務局及び小中学校等と連携し、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語支援を実施した。(要請のあった小・中・高等学校 (東部: 9校12名、中部1校2名、西部10校12名) に日本語支援員や教材などをコーディネート)

(2) 地域の国際化につながる活動の推進と在住外国人トータルサポート事業

ア あんしん生活・コミュニケーション支援

ア) 多文化共生コーディネーターの配置 (県委託事業、県補助事業 10/10)

外国人住民の増加及び多国籍化・多言語化に伴い、単に言葉の問題にとどまらず解決しなければならない問題がますます多様化・複雑化してきている現状において、県内在住外国人ならではの目線・視点をもって、日本人では気づきにくい日本人と外国人との文化的な背景や慣習・制度の違いによるギャップを把握し、寄り添いながら課題解決に取り組む「多文化共生コーディネーター」を新設した。(ベトナム出身1名)

日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくりを目指し、多文化共生出前講座の講師役や県立図書館主催の国際交流ライブラリー講演会の対談者役を務めるなど地域住民に対する多文化共生意識の啓発等を行ったほか、県内在住外国人の視点でWeb版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」の作成・編集を立案し、市町村が行う防災訓練等の企画運営に参画した。

<配置状況>

○本所 月・火・水・金曜日 8:45~17:15 (週30時間)

イ) 国際交流コーディネーターの配置 (県委託事業)

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏、中国語圏、ベトナム出身 (平成30年度倉吉事務所に配置、令和元年度は本

所、米子事務所にも配置)の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、さらにトリオフオン(三者通話機能)、TV会議システム等も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。(他の言語については多言語対応アプリを搭載したタブレットにより対応)

また、ホームページやSNS、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師を務めるなど地域の国際交流事業にも積極的に参画した。(英語圏出身1名、中国語圏出身2名、ベトナム出身1名)

<配置状況>

- 本所 英語対応 月・水曜日 13:30~17:30、金曜日 14:30~17:30
中国語対応 火・木曜日(~7月)、火曜日(8月~10月)、
火・水曜日(11月~) 9:00~17:00
ベトナム語対応 (多文化共生コーディネーターによる)
- 倉吉事務所 中国語対応 水曜日 9:00~17:00
ベトナム語対応 金曜日 9:00~17:00
- 米子事務所 中国語対応 木曜日 9:00~17:00
ベトナム語対応 月曜日 9:00~17:00

ウ)日本語クラスの運営(県補助事業3/4)

県内に在住するいろいろな立場・国籍の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を共に楽しく学べる場として、毎週水曜日または日曜日に専任講師とボランティアパートナーによるクラス形式の日本語教室を運営した。クラスに参加しにくい人などには、希望の日程にマンツーマンでボランティアが対応する個別学習を組み合わせ実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により第1期及び第2期ともに開始時期の延期、事前研修会の休止を余儀なくされ、予防対策をさらに強化したうえで実施した。また、運営に関わる講師及びボランティアの研修や意見交換の場を組み入れ、クラス運営の一体的な充実を図った。

また、令和4年3月の「日本語クラスのあり方検討会」による提言により、生活者としての外国人に対する日本語支援の充実、持続可能な体制づくりの検討を進めることとし、誰もが学習機会を得られるような運営方法として、前年度に続きオンラインクラスの試行を行った。

<東部>

クラス運営

形式:基礎(A)・初級(B)・中級(C)・漢字(D)子どもにほんごクラスの5クラス

期間:第1期 令和4年6月12日~8月28日の日曜日 全12回

第2期 令和4年9月18日~12月18日の日曜日 全13回

場所:財団本所(子ども日本語クラス)

鳥取市高齢者福祉センター(基礎・初級・中級・漢字)

受講者数:第1期 78名、第2期 94名(のべ人数)

研修会(第1期、第2期ともに感染予防対策のため休止)

<中部>

クラス運営

形式:水曜日 初級、日曜日 基礎、初級 の3クラス

期間:第1期 令和4年6月8日~7月27日の水曜日 全8回

令和4年6月5日~7月31日の日曜日 全7回

第2期 令和4年9月11日～11月27日の水曜日 全11回

令和4年9月14日～11月30日の日曜日 全9回

場所：水曜日 県中部総合事務所別館会議室

日曜日 県立倉吉体育文化会館会議室

受講者数：第1期 35名、第2期 36名（のべ人数）

研修会（第1期、第2期ともに感染予防対策のため休止）

<西部>

クラス運営

形式：基礎・初級の2クラス

期間：第1期 令和4年6月12日～7月24日の日曜日 全6回

第2期 令和4年10月16日～12月18日の日曜日 全9回

場所：米子コンベンションセンター会議室

受講者数：第1期 40名、第2期 52名（のべ人数）

研修会（第1期は感染予防対策のため休止）

—第2期—

日時：令和4年9月4日（日）13:30～14:30

場所：オンライン会議

内容：学習の進め方のヒント、クラスでの活動共有

講師 日本語講師 井岸 昌世氏

参加者数：9名

<オンラインクラス（試行）>

クラス運営

形式：基礎・初級の2クラス

期間：令和5年2月14日～3月14日（初級）、17日（基礎）の

火・金曜日 19:00～20:30 各全8回

受講者数：基礎クラス 4名、初級クラス 5名

<個別学習>

東部6組、中部2組、西部2組

（事業報告附属明細書P17 参照）

エ) 医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣（県補助事業3/4）

医療通訳ボランティア（要請に応え医療・保健機関等に派遣）及びコミュニティ通訳ボランティア（保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など言葉の支援の要請が多様化している現状でのより具体的な支援として、外国出身者がより円滑な社会生活を行うため、また公的機関等での適切な制度説明や手続きを促すために必要な言葉の支援）を専門通訳ボランティア派遣として一体的に運営することで、ワンストップサービスとして利用者目線で利便性が高まる工夫を行っている。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別警報発令中は派遣を休止または抑制し、電話通訳、オンライン通訳又は翻訳での対応とした。

・医療通訳ボランティア登録者

R5.3月末現在 英語 49名、中国語 17名、タガログ語 3名、韓国語 1名、タイ語 2名、スペイン語 1名 計 73名（複数言語登録有）

・コミュニティ通訳ボランティア登録者

R5.3月末現在 英語 56名、中国語 17名、タガログ語 6名、韓国語 1名、ポルト

ガル語1名、タイ語2名、スペイン語1名 計84名（複数言語登録有）

*令和4年度派遣実績 ()は前年度派遣実績(年間)の数字

	種別	東 部	中 部	西 部	計
英 語	医療	(50) 68件	(14) 3件	(2) 0件	(66) 71件
	コミュニティ	(17) 22件	(6) 5件	(0) 0件	(23) 27件
中 国 語	医療	(10) 10件	(10) 3件	(2) 6件	(22) 19件
	コミュニティ	(16) 9件	(6) 5件	(1) 1件	(22) 15件
ベトナム語	医療	(4) 2件	(16) 20件	(1) 0件	(21) 22件
	コミュニティ	(1) 1件	(8) 10件	(0) 0件	(10) 11件
そ の 他	医療	(0) 0件	(0) 0件	(2) 8件	(2) 8件
	コミュニティ	(0) 1件	(0) 0件	(2) 5件	(2) 6件
計	医療	(64) 80件	(40) 26件	(7) 14件	(111) 120件
	コミュニティ	(34) 33件	(20) 20件	(3) 3件	(57) 59件

「その他」はタガログ語、タイ語、モンゴル語

※派遣休止期間：全県（4/1～5/9）、西部（8/4～9/14）

派遣休止または抑制によるオンライン及び電話通訳対応

医療通訳2件、コミュニティ通訳2件

（事業報告附属明細書P17～18参照）

オ）防災・災害時支援事業の実施（県補助事業3/4）

大規模災害時に、災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除き、外国人が防災についての知識を得たり、実際に体験してみることのできるというときに備える意識を醸成するため、日本語クラスなどを利用した防災学習を実施した。また、市町村が実施する地域における防災訓練等の機会に多文化共生コーディネーターが在住外国人の視点で参画した。

<東部>

○日本語クラスでの防災学習

日時：令和4年12月14日（日）

内容：雪の季節に向けて気を付けること、天気や防災に関する言葉

○智頭町総合防災訓練への参画

日時：令和4年11月13日（日）予定のところ感染対策により企画中止

○鳥取市消防訓練へのブース出展（国際交流プラザ）

日時：令和5年2月26日（日） 9:00～12:00

<中部>

○外国人のための防災教室

日時：令和4年10月16日（日） 14:00～15:30

内容：地震のときどうする、台風・大雨を知ろう、地震体験・消火体験

協力：倉吉消防署

参加者数：外国人学習者11名、通訳2名

<西部>

○日本語クラスでの交通安全教室

日時：令和4年11月6日（日） 14:00～15:00

内容：道路を歩行する際の注意点、自転車のルールとマナー、事故を起こしたときの対応、在留カードの携帯など

協力：米子警察署

参加者数：外国人学習者30名、ボランティア2名、通訳2名

○よなご国際交流フェスティバルへのブース出展（米子市と共同実施）

カ）外国人相談窓口運営事業（県委託事業）

平成31年4月の改正入管法施行とともに、県より外国人受入環境整備交付金を財源とする「鳥取県国際交流財団外国人相談窓口業務」を受託し、これまで行ってきた外国人相談を拡充して各事務所に窓口を設け、相談内容に応じた専門機関との連携を図った。（職員で対応できない言語については多言語対応アプリを搭載したタブレット等翻訳機器により対応）

なお、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症に関して、外国人の方で発熱等の症状がある場合や陽性者と接触した可能性があるなどの不安に対応するための外国人向け相談窓口となるなど、ホームページ、SNSと連携した広報を継続した。

（事業報告附属明細書 P18～21 参照）

キ）多文化共生サポート事業（県補助事業 3/4）

平成30年度に財団ホームページに構築した多文化共生ポータルサイト（災害情報などの「重要なお知らせ」、「せいかつ安心情報」、「多言語相談フォーム」）の運用による相談内容の翻訳（回答）や情報提供のほか、広報及び専門機関等との連携強化によるサポート体制の充実を図った。

○外国人相談関係機関連絡会議（オンライン会議）

日時：令和4年11月18日（金） 13:30～15:00

場所：県民ふれあい会館大研修室

内容：外国人住民の現状と今後の動向、各機関による対応概況ほか

ク）私費留学生奨学金の支給（県補助事業 10/10）

(1) 私費外国人留学生奨学金制度

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生11名に月額2万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促している。

- ・鳥取大学6名（中国4、バングラデシュ2）
- ・公立鳥取環境大学5名（中国5）

(2) 鳥取県友好提携・交流地域私費外国人留学生奨学金制度

鳥取県の交流地域である韓国江原道、中国吉林省・河北省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、ロシア ハバロフスク地方、台湾台中市、米国バーモント州、ジャマイカ ウェストモアランド県出身者を対象に月額2万円の奨学援助を行い、在県時には地域における国際交流活動への協力を通じて県民の国際理解促進に貢献し、将来、鳥取県と友好交流地域間の架け橋となり得る人材の育成を図っている。

- ・前期 公立鳥取環境大学1名（台湾台中市1）

・後期 鳥取大学1名(中国吉林省1)、公立鳥取環境大学1名(台湾台中市1)

ケ) 地域の多文化共生推進交流会の実施(県補助事業3/4)

生活者としての外国人住民の文化を尊重しながら日本文化への理解も促し、自然なかたちで相互に交流できる機会を創出することで多文化共生の実践と浸透を図るきっかけづくりとして、感染症予防対策に十分配慮のうえ実施した。

○衣文化交流会—着物着付体験—

日時: 令和5年1月22日(日) ①11:00~12:30、②14:00~15:30

場所: 鳥取市高齢者福祉センター 教養文化室

内容: 参加者が自国の民族衣装の紹介をした後、振袖の着付を体験する。

協力: 山野流着装 鳥取県支部(代表 三谷 美登里氏ほか19名)

参加者数: ①14名、②15名

コ) 鳥取県多文化共生サポーター制度の運営業務(県委託事業)

鳥取県より委嘱を受けた多文化共生サポーター(鳥取市: 多言語国際サポート TIA・タイム・にほんごがくしゅうかい(R4.6に委嘱)、LEE JIA XIAN氏(R4.11に委嘱)、倉吉市: Tori フレンド Network、米子市: 伊藤 信広氏・松川 由依氏(R5.3に委嘱))の活動に対する研修や情報提供を行うとともに、活動報告の共有、活動費の支給、保険加入等の業務を行った。

○全体研修(オンライン会議)

日時: 令和4年9月12日(月) 10:00~11:30

場所: 県民ふれあい会館大研修室

出席者: 多文化共生サポーター(団体代表及び個人)、所在3市 10名

内容: (1) 研修「鳥根県外国人地域サポーターの活動について」

講師 (公財)しまね国際センター 多文化共生推進課長 仙田 武司氏

(2) 活動報告及び意見交換

サ) 国際交流ボランティア登録制度の運営(自主事業)

日本語教育、ホームステイ、ホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて活動の場を紹介することで、県民のボランティア活動の推進に努めた。

○活動実績

日本語教育 10名、ホームステイ 0家庭、ホストファミリー 0家庭

イ 担い手となる人材の育成

ア) 医療・コミュニティ通訳ボランティア確保・育成事業の実施(県補助事業3/4)

今後、多文化共生社会を推進していくためには、通訳ボランティアの果たす役割はますます重要であり、ボランティア人材及び人材の質を確保していくため、人材の確保・育成・派遣の三本立てで事業を実施することで、優秀な人材を着実に確保し登録者の拡充に結びつけた。(講座後新規登録者: 7名(英語4、中国語3、タイ語1、スペイン語1))

(1) 確保事業(人材確保のための導入研修)

<入門編>資質・適性のある活動候補者(希望者)を対象に、県内在住の外国出身者の現状理解や今後の活動に役立つトレーニング方法等の研修

日時：令和4年11月11日（金）13:00～15:30

場所：ハイブリッド（オンライン+県民ふれあい会館、オンデマンド）

内容：(1)制度説明

(2)講義①「なぜ鳥取県で医療・コミュニティ通訳が必要なのか」

財団理事・多文化交流教室「日華ふれんず」代表、

Sun-in 台湾人会会長 川口 斐斐氏

(3)講義②「医療・コミュニティ通訳ボランティアとしての基礎と心構え」

NPO 法人国際活動市民中心（CINGA）コーディネーター 新居 みどり氏

受講者数：51名（会場10名、オンライン25名、オンデマンド16名）

(2) 育成事業（スキルアップ講座、自発的活動促進支援）

<応用編>言語及び医療の専門知識、対人援助能力など活動をふまえた資質向上とモチベーションの維持を目的とするスキルアップ研修

日時：令和5年1月28日（土）10:00～15:00

場所：ハイブリッド（オンライン+県民ふれあい会館）

内容：(1)言語別ロールプレイ①（英語・中国語）

講師 株式会社Bricks 通訳

(2)講義「現在の感染症から身を守るために」

講師 財団理事・鳥取看護大学教授 荒川 満枝氏

(3)通訳ボランティアによる活動紹介

(4)言語別ロールプレイ②（ベトナム語、タガログ語、タイ語、スペイン語）

講師 株式会社Bricks 通訳

受講者数：35名（会場7名、オンライン28名）

（受講者アンケート参照）

<自発的活動促進支援>自主勉強会の会場確保や講師の派遣など側面的な支援

東部地区（英語）自主勉強会

場所：県民ふれあい会館研修室（原則毎月1回）

講師：財団理事・マリーナ翻訳サービス代表 シェリー メガリー氏

内容：テーマを決めて研修・ロールプレイ

参加者数：7回 のべ48名

(3) 派遣事業（医療・コミュニティ通訳ボランティア派遣事業（別掲））

イ) 地域における日本語教育支援者養成講座の実施（県補助事業3/4）

地域の日本語教育の中核となる人材及び日本語教育ボランティアの初心者向けの研修、及びスキルアップを目的とする研修会を開催した。

<日本語教育支援者成講座>

○ボランティア向け

日 時	令和4年10月29日（土） 10:00～12:00	令和4年12月10日（土） 10:00～12:00
場 所	ハイブリッド形式 ①オンライン+②伯耆しあわせの郷+③オンデマンド	
内 容	(1)異文化理解	(1)コミュニケーション教育
	(2)コミュニケーションストラテジー	(2)日本語の構造
	講師：（一財）日本国際センター関西支所 日本語講師	
受講者数	19名（①10名、②4名、③5名）	21名（①15名、②6名）

○クラス講師ほか経験者向け

日 時	令和4年10月29日(土) 13:00~15:30	令和4年12月10日(土) 13:00~15:30
場 所	ハイブリッド形式(①オンライン+②伯耆しあわせの郷+③オンデマンド)	
内 容	コミュニケーション教育1 『働くための日本語』テキストを例 に ・学習者はその日に何を学ぶか ・具体的な教え方(導入方法)	コミュニケーション教育2 ・具体的な教え方(練習方法・一 部教育実践)
	講師:(一財)日本国際センター関西支所 日本語講師	
受講者数	21名(①12名、②6名、③3名)	21名(①15名、②6名)

(受講者アンケート参照)

<外国にルーツをもつ児童・生徒の日本語支援関係者連絡協議会>

日時:令和5年3月10日(金) 14:00~15:30

場所:オンライン会議

主催:鳥取市教育委員会

議題:日本語支援が必要な外国人児童生徒の現状、今後の課題

ウ) 通訳ボランティアスキルアップ講座の実施(県委託事業)

平成29年度から県委託事業として実施してきた本事業により、スポーツの国際大会や海外選手団の受入に対応しうる技量を備えた通訳ボランティアを一定数確保することができた。今後、2024世界パラ陸上神戸大会に出場するジャマイカパラ陸上選手団事前キャンプ誘致を念頭に想定されるパラスポーツの国際案件について、障がいの有無によらず対応できる人員体制を構築すべく、パラスポーツに特化した講座運営業務を受託、実施した。

<東部会場>

日時:令和4年12月8日(木) 13:30~16:30

場所:ハイブリット形式(オンライン+県民ふれあい会館)

内容:(1)今後の国際大会・事前キャンプの予定等について(県スポーツ課)

(2)講義①「パラスポーツの基礎知識・パラアスリートへの配慮が必要なポイントについて」

講師 一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 スポーツ指導員
山下 忍氏

(3)講義②・演習

講師 財団理事・マリーナ英語サービス代表 シェリー・メガリー氏

受講者数:17名(オンライン14名、会場3名)

(受講者アンケート参照)

(3) 世界につながる県民の
国際理解・国際協力推
進

ア 国際理解推進事業

ア) 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施(県補助事業 10/10)

平成30年7月に鳥取県とバーモント州政府が姉妹提携協定書に調印したことを機に、これまで10年間にわたりカウンターパートとして交流事業を進めてきたNPO法人Green Across the World(略称:GATW)と「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定を締結したところである。今後さらに強固な体制で国際的視野をもった青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる交流を促進するため、県内の高校生等をバ

ーモント州に派遣及び同州の高校生を県内に受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない現状からいずれの事業も前年度に続き中止とした。

直接の往来ができない中でも交流の灯をたやさぬよう、代替事業として事業PR動画を制作し、県立高等学校ICT環境の利用など現役高校生と安全に情報共有を図ることのできるプラットフォームに向けた協議を行った。

イ 国際協力推進事業

ア) 県費留学生・研修員等の受入（県委託事業）

鳥取県が本県と関係の深い国々の将来を担う青年を「県費留学生」「海外技術研修員」または「協力交流研修員」として招へいし、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成するにあたり、併せて県民との友好親善の担い手となることを目的に、受入にかかる研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。

なお、自治体職員協力交流事業（中国吉林省）については最後まで来県を検討していたため、県との連絡調整及び宿舎等の確保と管理業務について受託した。

<鳥取県江原道職員相互派遣研修員受入事業>

氏名	沈 美愛（シム ミエ）
国籍	韓国（江原道）
区分	鳥取県・江原道職員相互派遣研修員
研修期間	11か月（R4.5～R5.3）
研修科目	観光分野
研修機関	県交流人口拡大本部ほか

<自治体職員協力交流員受入事業>

氏名	BLACK-JACSON Marcine （ブラック・ジャクソン マーシーン）
国籍	ジャマイカ（ウエストモアランド県）
区分	自治体職員協力交流研修員
研修期間	6か月（R4.9～R5.3）
研修科目	プロジェクトマネジメント、財務分野
研修機関	県交流人口拡大本部ほか

<ブラジル交流促進事業>

県費留学生・技術研修員とも来県中止

(4) 山陰・夢みなと博覧会
記念基金を活用した県
民主体・参加型国際交
流事業

ア 基金による助成事業

県民参加型の地域の国際化に資する交流事業を支援するための助成制度を運営した。

なお、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、予算に対し12%の執行率にとどまった。

ア) 民間国際交流・協力事業への助成

県内に拠点を置く民間交流団体等が実施する県民参加型の地域の国際化に資する国際交流・協力事業に対し、事業にかかる直接的な経費を同年度内に一団体あたり合計で300万円（青少年事業を含む場合は500万円）を上限に助成した。

交付実績：2事業（680千円）

イ) 海外教育旅行への助成

本件の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成と、山陰唯一の国際定期便である米子ソウル便・香港便・上海便及び環日本海定期貨客船の利用促進に資するものとして、県内の小・中学校、高等学校等が実施する海外への教育旅行に対し、経費の一部を助成（パスポート（5年）相当分の半額として5,500円を全員に交付した。ただし、米子ソウル便・香港便・上海便及び環日本海定期貨客船を利用した場合には、1万円を上乗せして交付）。

交付実績：2事業（644千円）

（事業報告附属明細書 P21～22 参照）

イ 基金による県民参加型交流事業

ア) 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験などさまざまな国の文化に触れる機会を提供することを目的に実施した。（新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、9～12月にかけて順次開催）

<東部>郡家西、中ノ郷、米里、瑞穂、鳥取大学附属特別支援 計5校

<中部>大栄、浦安、関金、赤碕 計4校

<西部>中山、彦名、淀江、弓ヶ浜 計4校

対象校数 全13校 709名

（事業報告附属明細書 P22～23 参照）

イ) 国際交流フェスティバルの実施

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、県内3地区で開催されている民間団体（実行委員会）主催の国際交流フェスティバルを共催で実施した。

なお、中部と西部については3年ぶりの開催となる。

<東部>第34回タイムフェスティバル

令和4年11月23日（水・祝）於 とりぎん文化会館 来場者数600名

（パフォーマンス出演9団体、展示ブース出展20団体、物品販売6団体）

<中部><くらし国際交流フェスティバル2022

令和4年11月20日（日）於 伯耆しあわせの郷 来場者数1,000名

（ステージイベント出演4団体、展示ブース出展15団体、加工品販売6団体）

<西部><よなご国際交流フェスティバル2022

令和4年9月25日（日）於 米子市文化ホール 来場者数1,300名

（パフォーマンス出演10団体、展示ブース出展11団体、加工品販売7団体）

（事業報告附属明細書 P23 参照）

ウ) 多文化共生ネットワーク連携事業

平成28年度より、外国人コミュニティや社会活動に積極的に参画している在住外国出身者を主たるメンバーとする「多文化共生ネットワーク会議」を組織し、定期的に意見を交換するとともに、必要な取り組みを企画し、協働で実施するなど、外国人住民目線で「必要なこと」を実現していくことに取り組んでいる。「多文化共生ポータルサイト」の翻訳などの運営補助のほか、地域における多文化共生推進のための多文化共生出前講座を実施した。

<多文化共生ネットワーク会議>

○全体会議

日時：令和4年8月6日（土）10:00～11:30

場所：ハイブリッド（県民ふれあい会館ほか3会場＋オンライン）

内容：今年度の協働事業について意見交換

<多文化共生出前講座>

主にネットワーク会議委員や財団職員を講師とする多文化共生出前講座を、要請に応じて派遣した。

	日 時	派遣先・対象	内容及び講師名
1	令和4年4月11日 (月) 13:30～14:30	鳥取社会福祉専門学校	「まずはベトナムの理解から」～私たちが できること～ グエン バオ ゴック ユンギ (財団・多 文化共生コーディネーター)
2	令和4年6月17日 (金) 10:30～12:00	県立倉吉総合看護 専門学校	「鳥取県で暮らす外国人の現状と支援に ついて考える」 アベ山田マリアルイサ氏 (財団理事・多 文化共生ネットワーク会議委員)
3	令和4年11月1日 (火) 10:45～12:25	鳥取城北高等学校 (看護医療福祉コ ース)	「日本に暮らす外国人の困りごと (医療・ 生活・関わり方) について」 グエン バオ ゴック ユンギ (財団・多 文化共生コーディネーター)
4	令和4年11月1日 (金) 14:30～15:20	県立岩美高等学校	「多文化共生について理解を深めよう」 グエン バオ ゴック ユンギ (財団・多 文化共生コーディネーター)

<協働事業>

○「グラウンド・ゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2022」への参加

コロナ禍において、安心して取り組み、参加できる屋外活動について調整を行う中で、湯梨浜町で開催されるグラウンド・ゴルフ国際交流大会実行委員会との連携により協働事業を実施することとした。

日時：令和4年11月27日（日）

場所：グラウンドゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」

内容：主に県内在住の外国出身者を対象とした大会であり、鳥取県発祥のスポーツを通して地元の愛好者グループや日本人ボランティアと交流を図る。

参加者数：105名（東部65名、中部16名、西部24名）

法人管理
会議等開催状況

評 議 員 会

(1) 第36回評議員会

令和4年5月31日（火）10:00～10:50 とりぎん文化会館2階「第3会議室」

議決事項

第1号議案 議事録署名人の選出について

第2号議案 令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の承認について

第3号議案 理事の選任について

報告事項(1) 令和3年度事業報告及びその附属明細書について

報告事項(2) 令和4年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

(2) 第37回評議員会（決議の省略による）

令和4年8月16日

議決事項

第1号議案 理事の選任について

(3) 第38回評議員会（報告の省略による）

令和4年10月7日

報告事項 令和4年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

(4) 第39回評議員会（決議の省略による）

令和5年1月27日

議決事項

第1号議案 理事の選任について

(5) 第40回評議員会（報告の省略による）

令和5年3月30日

議決事項

第1号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の変更及び常務理事の報酬の額の決定について

報告事項 令和5年度事業計画及び収支予算等について

理 事 会

(1) 第70回理事会（決議の省略による）

令和4年4月1日

議決事項

第1号議案 事務局長の解任及び選任について

(2) 第71回理事会

令和4年5月16日（月）10:00～11:20 鳥取県庁第二庁舎4階「第32会議室」

議決事項

第1号議案 令和3年度事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について

第2号議案 令和4年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

第3号議案 定時評議員会の招集について

(3) 第72回理事会（決議の省略による）

令和4年7月25日

議決事項

	<p>第1号議案 決議の省略による評議員会の招集について</p> <p>(4) 第73回理事会（決議の省略による）</p> <p>令和4年9月12日</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 令和4年度事業計画の変更及び収支予算の補正について</p> <p>第2号議案 臨時評議員会（報告の省略による）の招集について</p> <p>(5) 第74回理事会</p> <p>令和4年11月11日（金）13:00～14:10 とりぎん文化会館2階「第3会議室」</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団育児・介護休業等に関する規程の変更について</p> <p>報告事項(1) 令和4年度職務執行の状況について</p> <p>(6) 第75回理事会（決議の省略による）</p> <p>令和4年1月20日</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 決議の省略による評議員会の招集について</p> <p>(7) 第76回理事会（決議の省略による）</p> <p>令和5年2月1日</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 常務理事の選定について</p> <p>(8) 第77回理事会</p> <p>令和5年3月17日（金）13:30～14:33 とりぎん文化会館2階「第3会議室」</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算等について</p> <p>第2号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程の変更について</p> <p>第3号議案 臨時評議員会（決議の省略による）の招集について</p> <p>第4号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団処務規程の変更について</p> <p>第5号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役職員の給与に関する規程の変更について</p> <p>第6号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団就業規程の変更について</p> <p>報告事項 令和4年度職務執行の状況について</p>
--	--